

Ⅲ 具体的スケジュール

期 日	内 容	備 考
4月3日(月)	本年度の研究について	組織職員会・教科会
4月5日(火)	校内研修(本年度の研究について、着任された教員対象→『研究の手引』の共有化)	
4月6日(金) 4月14日(金)	授業研究の希望提出、研究発表会授業者決定 ・探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業実施計画書提出	4月8日(市教委まで)
4月26日(水)	・清水風授業スタンダードの確認 ・研究授業の進め方	
4月28日(金)	諸計画見直し ・研究部会 → 活動計画, 学校経営計画, 領域等の全体計画・年間指導計画 ・学年会 → 領域等の全体計画・年間指導計画 → 学年会は適宜とる。 学級経営計画・学年経営計画	計画提出 ⇒4/28(木) 5月8日(木)市教委提出
5月初旬	28年度版『研究の手引』配布、『研究の手引』の共有化	
5月～11月	教科・領域の授業研究	
5月10日(水)	校内研修 ・各研究部会の活動計画の確認 ・研究の手引きの効果的な活用方法	
5月19日(金) 5時間目学活 *全校一斉にアンケートを取る。	第1回学習アンケート (部会6/7→学年会→職員会 6/21(水))	分析を提出 ⇒5/26(金) 集計後、安芸市に提出
	第1回道徳性のアンケート (部会6/7→学年会→職員会 6/21(水))	分析を提出 ⇒5/26(金) 集計後、安芸市に提出
	清水風生活アンケート (部会6/7→学年会→職員会 6/21(水))	分析を提出 ⇒5/26(金)
	1年生人権意識調査 (部会6/7→学年会→職員会 6/21(水))	分析を提出 ⇒5/26(金)
	第1回学校生活に関するアンケート (部会6/7→学年会→職員会 6/21(水))	分析を提出 ⇒5/26(金)
	第1回QU実施・分析(学年会→職員会 6/21(水))	
5月29日(月)	生徒対象清水風授業スタンダード確認 生徒総会終了後(15分)	
6月21日(水)	学テの校内分析結果共有・手立ての確認	
6月6日(火)	全校授業研(国語)	
6月中	総合的な学習の時間で育った学力についての調査 (部会→学年会→職員会7/12(水))	
6月12日(月)～30日(金)	第1回教科授業アンケート(生徒・授業者・参観者) (研究委員会→校内研修 8/1(火))	分析を提出 ⇒7/20(木)
8月1日(火)	校内研① 教科会(安芸市版学力調査の分析の報告と対策) 第1回授業力チェックシートの分析報告と改善	
8月3日(木)午後	小中連携夏季研修会	
8月28日(木)	研究部会(学校経営計画中間検証、7月までの振り返りと改善点、諸計画の見直し) 公開授業に向けての指導案検討、学校の修繕	
8月31日(木)	7月までの授業研究の指導案提出	
9月1日(金)*職員会	校内研 学校経営計画中間検証共有化	
9月27日(水)	研究発表会に向けての確認(職員会)	

10月6日(金)	第2回QU実施・分析(学年会)(学年会→職員会11/8(水))	分析を提出 ⇒10/20(金)
10月17日(火)	研究発表会(1年数学、2年社会、3年総合)	
10月25日(水)	校内研修会(研究発表会から学んだことを日常の授業で生かしていくためには)	
11月14日(月)～24日(金)	第2回教科授業アンケート(生徒・授業者・参観者) (研究委員会→職員会1/10(水))	分析を提出⇒12/25(月)
12月6日(水) *全校一斉にアンケートを取る。	第2回学校生活に関するアンケート(結果をもとに随時対応) (部会→学年会→職員会1/10(水))	学年分析提出⇒12/15(金)
	第2回学習アンケート(部会→学年会→職員会1/10(水))	学年分析提出⇒12/15(金)
	第2回道徳性のアンケート	学年分析提出⇒12/15(金)
	3年生人権意識調査(部会→学年会→職員会1/10(水))	学年分析提出⇒12/15(金)
1/10(水)	県版学力定着状況調査	
1月12日(金)	2学期授業研究の指導案提出(成果と課題を記入)	※指導案集作成に取りかかる。
2月7日(水) 30分	研究部会(1年間の振り返り、学校経営計画検証、来年度への課題)	
2月7日(水) 30分	教科会(1年間の振り返り、来年度への課題1年間の振り返り、来年度への課題)	
2月21日(水)	県版学テ分析報告、教科会まとめ(職員会)	
	学校経営計画年度末検証(各校務分掌担当、キャップ等)	
3月	学校経営計画	/ () 提出
	指定報告書提出	提出⇒3/2(金)
3月1日(木)	30年度版領域・人権・キャリア全体計画・年間指導計画 30年度版教科経営案	※様式を確認しながら作成
3月中	H30学校経営計画(年度当初)提出	
3月15日(木)	職員会(研究部会の報告、学校経営計画検証共有化、来年度の研究の方向性)	